

学位論文の審査基準

論文は単著とし、各審査委員が内容に関わる項目についての評価を行い、その評価が設定された基準を満たした場合に、合格とします。

修士論文審査基準

1. **研究テーマ**
学術的に重要な研究テーマである。
2. **研究背景**
先行研究・文献との関連は十分である。
3. **研究目的**
研究目的が明確である。
4. **研究の意義**
看護学の発展に貢献し、波及効果が期待できる。
5. **研究方法**
研究目的を達成するために適切な研究方法が用いられている。
科学的根拠に基づいた研究方法が用いられている。
研究方法が具体的に論述されている。
6. **研究結果**
研究に新規性が認められる。
7. **考察、結論、論文の構成と形式**
結果と考察の整合性がある。
論旨は明確で、一貫性がある。
学術論文としての体裁が整っている。
8. **表現の適切性**
研究公正の観点から問題がない。
研究倫理の問題に適切に対応している。
9. **公開審査会における学生の質疑応答時の内容**

課題研究論文審査基準

- ・テーマが精神看護学実習の実践で体験した患者及び家族の状態に応じた看護支援方法及び高度な看護技術、看護師の自己理解に基づく実践場面で気づいた看護援助を行う際の内発的な力、患者及び家族と看護師との関係性に影響する要因、などに関することであること。
- ・学術論文としての体裁が整っていること。
- ・精神看護学実習の中で気づいた課題研究テーマを深く検討し、新たな知見を論理的に示し、その意義を明確にしていること。
- ・研究倫理審査委員会の承諾を得ていること。